

妙高市定住促進通学費貸与条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、妙高市定住促進通学費貸与条例（平成31年妙高市条例第6号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(貸与の申請)

第2条 資金の貸与を受けようとする者は、連帯保証人と連署した妙高市定住促進通学費貸与申請書（別記様式第1号）に次に掲げる書類を添えて、市長が定める日までに市長に提出しなければならない。

- (1) 在学証明書又は大学等の入学が決定していることを証する書面の写し
- (2) 住民票の写し
- (3) 通学定期券の写し
- (4) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める書類

(貸与の決定)

第3条 市長は、前条の規定による申請について、その内容を審査し、条例第5条の規定により資金の貸与又は貸与をしないことを決定したときは、妙高市定住促進通学費貸与決定（不決定）通知書（別記様式第2号）により通知する。

2 前項の規定により決定の通知を受けた者は、連帯保証人及び保証人（独立の生計を営む成年者であって、いつでも資金の貸与を受けると連絡を取ることができる者に限る。）と連署した誓約書（別記様式第3号）を市長に提出しなければならない。

(資金の貸与)

第4条 資金の貸与を受けた者で、通学に係る定期券を購入したときは、速やかに、妙高市定住促進通学費請求書（別記様式第4号）に定期券の写しを添えて市長に提出しなければならない。

2 市長は、前項の請求書の提出があったときは、これを審査し、資金を貸与するものとする。

(異動の届出等)

第5条 資金の貸与を受けた者で、次のいずれかに該当するときは、連帯保証人と連署した通学に係る届出書（別記様式第5号）を、速やかに市長に提出しなければならない。

- (1) 休学、復学、転学又は退学したとき。
- (2) 停学その他の処分を受けたとき。

(3) 進学を条件として貸与の決定を受けた者が進学できなかったとき。

(4) 本人又は連帯保証人若しくは保証人の氏名、住所その他の重要な事項に変更があったとき。

2 市長は、資金の貸与を受けた者の通学の事実を確認するため、必要に応じて定期券の提示を求めることができる。

(転学又は退学があった場合の貸与の取扱い)

第6条 資金の貸与を受けた者が転学又は退学したときは、資金の貸与を辞退したものとみなす。

2 前項の規定にかかわらず、資金の貸与を受けた者が転学した場合で、連帯保証人と連署した通学に係る届出書を提出したときは、資金の貸与を継続することができる。

(貸与の決定の取消しの通知)

第7条 市長は、条例第10条の規定により貸与の決定を取消したときは、妙高市定住促進通学費貸与取消通知書（別記様式第6号）により通知する。

(借用証書等の提出)

第8条 資金の貸与を受けた者は、条例第12条のいずれかに該当するときは、貸与を受けた資金の全額について、連帯保証人及び保証人と連署した妙高市定住促進通学費借用証書（別記様式第7号）並びに妙高市定住促進通学費返還明細書（別記様式第8号）を速やかに市長に提出しなければならない。

(連帯保証人等の変更)

第9条 資金の貸与を受けた者は、連帯保証人又は保証人が死亡その他の理由により資格を失ったときは、速やかにその代わりを定めて連帯保証人と連署した通学に係る届出書を市長に提出しなければならない。

(死亡の届出)

第10条 資金の貸与を受けた者が死亡したときは、相続人又は連帯保証人は、死亡届出書（別記様式第9号）に死亡診断書を添えて、速やかに市長に提出しなければならない。

(返還猶予の願い出)

第11条 資金の貸与を受けた者は、条例第13条の規定により資金の返還の猶予を受けようとするときは、連帯保証人及び保証人と連署した妙高市定住促進通学費返還猶予願（別記様式第10号）にその事由を証することのできる書類を添えて市長に提出しなければならない。

(返還猶予の決定)

第12条 市長は、前条の猶予願の提出があったときは、これを審査し、返還の猶予の可否を決定したときは、妙高市定住促進通学費返還猶予決定（不決定）通知書（別記様式第11号）により通知

する。

(返還免除の願い出)

第13条 資金の貸与を受けた者又は相続人は、条例第15条第1号又は第2号の規定により資金の返還の免除を受けようとするときは、連帯保証人及び保証人と連署した妙高市定住促進通学費返還免除願(別記様式第12号。以下「免除額」という。)に次に掲げる書類を添えて市長に提出しなければならない。

(1) 条例第15条第1号の規定によるときは、戸籍抄本

(2) 条例第15条第2号の規定によるときは、重度心身障がいの事実及び程度を証する医師の診断書並びに資金の返還が困難である事情を証する書類

2 資金の貸与を受けた者は、条例第15条第3号の規定により資金の返還の免除を受けようとするときは、前項の免除願を市長に提出しなければならない。この場合において、返還を免除する額は、市長が当該免除を認めた年度以降において本来返還すべき額の3分の2の額に1,000円未満の端数があるときは、当該端数を切り捨てた額とする。

(返還免除の決定)

第14条 市長は、前条の免除願の提出があったときは、これを審査し、返還の免除の可否を決定したときは、妙高市定住促進通学費返還免除決定(不決定)通知書(別記様式第13号)により通知する。

2 前項の免除決定を受けた者が、繰り上げて返還を行う場合は、当該年度後の返還額には免除を適用しない。

(返還免除現況届等)

第15条 条例第15条第3号の規定に該当して返還の免除の決定を受けた者は、返還を完了するまでの間、毎年、市長が定める日までに妙高市定住促進通学費返還免除現況届(別記様式第14号)を提出しなければならない。

2 返還の免除の決定を受けた者は、前項の現況届の内容に変更があったときは、速やかにその旨を届け出なければならない。

(返還免除の停止及び取消し)

第16条 市長は、返還の免除の決定を受けた者が条例第15条第3号に該当しないと認めるときは、返還の免除を停止又は取り消すことができる。

2 前項の返還の免除の停止又は取消しを受けた者に対して、市長は、返還を免除した額を請求することができる。

(その他)

第17条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

年 月 日

妙高市定住促進通学費貸与申請書

大学等への通学費の貸与を受けたいので、次のとおり申請します。

| | | | |
|--------------------------|--|-----------------------------------|------------------------|
| ふりがな | | | |
| 氏 名 | 生年月日 | | 年 月 日 |
| 住 所 | 〒 ー 電話番号 () | | |
| 在 学 校 | <input type="checkbox"/> 国公立 <input type="checkbox"/> 私 立 部 科 第 学年 | 入学（編入学） 年 月 日 卒業予定 年 月 日 | |
| 見 込 額 | 1月当たり | 円 | 貸付期間 年 月から 年 月まで |
| 本人の履 歴（学 歴・職 歴） | 年 月 | | 年 月 |
| | 年 月 | | 年 月 |
| | 年 月 | | 年 月 |

(裏面)

| 経路 | 通学方法 | 区 間 | | | |
|---|-------------|--------|------|--------|------|
| 1 | | ～ | | | |
| 2 | | ～ | | | |
| 3 | | ～ | | | |
| 上記の記載事項は、事実と相違ありません。 | | | | | |
| 年 月 日 | | | | | |
| 妙高市長 宛 | | | | | |
| 本 人 氏名 ㊟ | | | | | |
| 連帯保証人 氏名 ㊟ | | | | | |
| 連帯保証人 関連事項 ※連帯保証 人が記載 すること。 | 住 所 | 〒 | — | 本人との続柄 | 職 業 |
| | | 電話番号 | () | | |
| | 勤 務 先 | 事業所名 | 生年月日 | | |
| | | 事業所所在地 | | 年 月 日 | (歳) |
| | 電話番号 | () | | | |

妙高市定住促進通学費貸与決定（不決定）通知書

第 号
年 月 日

様

妙高市長 印

年 月 日付けで申請のあった大学等への通学費の貸与について、次のとおり決定をしたので（しないので）通知します。

1 決定区分

決定 不決定

不決定の理由

2 貸与を決定した金額 円

3 貸与を決定した期間 年 月から 年 月まで

誓 約 書

年 月 日

妙高市長 宛て

本 人 氏名 ㊦
連帯保証人 氏名 ㊦
保 証 人 氏名 ㊦

私は、通学費の貸与を受けるに当たり、妙高市定住促進通学費貸与条例及び妙高市定住促進通学費貸与条例施行規則の規定を遵守することを誓います。

なお、通学費の返還債務が生じたときは、妙高市定住促進通学費借用証書及び妙高市定住促進通学費返還明細書等の書類を提出し、返還期間内に誠意をもって返還することを誓約します。

妙高市定住促進通学費返還明細書の計画に基づく支払等を継続して怠ったときは、当然に期限の利益を失い、返還金の全部又は一部について直ちに返還を命じられても異議はありません。

連帯保証人は、それぞれ返還債務を本人と連帯して負担します。

| | | | | | |
|--------|------|--------|---|----|--|
| 本 人 | 住 所 | 〒 | | | |
| | | (電話番号) | | | |
| | 生年月日 | 年 | 月 | 日生 | |

| | | | | | | |
|-----------------------|------|--------|---|----|----|--------|
| 連 帯 保 証 人 | 住 所 | 〒 | | | | |
| | | (電話番号) | | | | |
| | 生年月日 | 年 | 月 | 日生 | 職業 | 本人との続柄 |

| | | | | | | |
|-------------|------|--------|---|----|----|--------|
| 保 証 人 | 住 所 | 〒 | | | | |
| | | (電話番号) | | | | |
| | 生年月日 | 年 | 月 | 日生 | 職業 | 本人との続柄 |

妙高市定住促進通学費請求書

年 月 日

妙高市長 宛て

本人 住所

氏名



次のとおり大学等への通学費を請求します。

| 請 求 額 | | 円（1月当たり 円） | | |
|-------|------|------------|-------|-----------|
| 経路 | 通学方法 | 区 間 | 定期券 | |
| 1 | | ～ | 番 号 | |
| | | | 購入年月日 | . . |
| | | | 有効期間 | . . ~ . . |
| 2 | | ～ | 番 号 | |
| | | | 購入年月日 | . . |
| | | | 有効期間 | . . ~ . . |
| 3 | | ～ | 番 号 | |
| | | | 購入年月日 | . . |
| | | | 有効期間 | . . ~ . . |

※定期券の写しを添付する。

奨学生の資格を確認するため、市の職員が住民基本台帳を閲覧することに同意します。

（□にレ点を記入してください。同意しない場合は、住民票を添付してください。）

| 振込先 | | | |
|---------|---------|---------|--|
| 金融機関名 | | 支 店 名 | |
| 預 金 種 目 | 普通 ・ 当座 | 口 座 番 号 | |
| フリガナ | | | |
| 口座名義 | | | |

別記様式第5号（第5条、第6条、第9条関係）
別記様式第5号（第5条、第6条、第9条関係）

通学に係る届出書

年 月 日

妙高市長 宛て

本人（相続人） 住所

氏名 ㊦

連帯保証人 住所

氏名 ㊦

次のとおり通学費に係る変更等について、届け出ます。

| | |
|----------|-------|
| 届出事項 | |
| 届出内容（理由） | |
| 届出事項の発生日 | 年 月 日 |

妙高市定住促進通学費貸与取消通知書

第 号
年 月 日

様

妙高市長 印

次のとおり通学費の貸与の決定を取り消したので通知します。

1 取消日 年 月 日

2 理由

3 貸与期間 年 月 日から 年 月 日

4 貸与した通学費の額 円

別記様式第7号（第8条、第10条関係）
別記様式第7号（第8条、第10条関係）

妙高市定住促進通学費借用証書

年 月 日

妙高市長 宛て

| | | |
|---------|----|---|
| 本人（相続人） | 住所 | |
| | 氏名 | ㊞ |
| 連帯保証人 | 住所 | |
| | 氏名 | ㊞ |
| 保証人 | 住所 | |
| | 氏名 | ㊞ |

私は通学費の貸与を受けた者として次に掲げる金額を借用しました。ついては、妙高市定住促進通学費貸与条例及び妙高市定住促進通学費貸与条例施行規則を守り、妙高市定住促進通学費返還明細書のとおり滞りなく返還します。

万一、返還を怠った場合には、延滞金を課されても異議ありません。

印紙税法による印紙を貼る。

借用金額 _____ 円

別記様式第8号 (第8条、第10条関係)
 別記様式第8号 (第8条、第10条関係)

妙高市定住促進通学費返還明細書

| | | | | | |
|-----------------------|---|-------|---------|--|--|
| 氏名 | | | 返還総額 | 円 | |
| | | | 返還期間 | 年 月から 年 月まで (年間) | |
| 生年月日 | 年 月 日 | | 返還額 | 円 (1回当たりの金額) | |
| 借用終了 年月及び 終了理由 | 年 月 <input type="checkbox"/> 満期 <input type="checkbox"/> 辞退 <input type="checkbox"/> 退学 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 死亡 | | | <input type="checkbox"/> 年賦 <input type="checkbox"/> 月賦 <input type="checkbox"/> 半年賦 | |
| 借入金額内訳 | 借 用 期 間 | 借 用 日 | 借 用 金 額 | | |
| | 年 月 から 年 月 まで | 年 月 日 | 円 | | |
| | 年 月 から 年 月 まで | 年 月 日 | 円 | | |
| | 年 月 から 年 月 まで | 年 月 日 | 円 | | |
| | 年 月 から 年 月 まで | 年 月 日 | 円 | | |
| | 年 月 から 年 月 まで | 年 月 日 | 円 | | |
| | 年 月 から 年 月 まで | 年 月 日 | 円 | | |
| | 年 月 から 年 月 まで | 年 月 日 | 円 | | |
| | 年 月 から 年 月 まで | 年 月 日 | 円 | | |
| | 年 月 から 年 月 まで | 年 月 日 | 円 | | |
| | 借 用 金 額 合 計 | | | 円 | |
| 連 絡 先 | 〒 - 電話番号 () | | | | |
| 就 職 先 及 び その 所 在 地 | 事業所名 事業所所在地 電話番号 () | | | | |

別記様式第9号（第10条関係）
別記様式第9号（第10条関係）

死 亡 届 出 書

年 月 日

妙高市長 宛て

住所

届出者 氏名

印

本人との続柄

次の者が死亡したので、届け出ます。

1 通学費の貸与の決定を受けた者又は通学費の貸与を受けた者の氏名

2 死亡年月日 年 月 日

妙高市定住促進通学費返還猶予願

年 月 日

妙高市長 宛て

本人（相続人） 住所
 氏名 ㊟
 連帯保証人 住所
 氏名 ㊟
 保証人 住所
 氏名 ㊟

次のとおり、大学等への通学費の返還の猶予を願い出ます。

| | |
|-------------|-------------|
| 借 用 金 額 | 円 |
| 返 還 未 済 額 | 円 |
| 返 還 猶 予 期 間 | 年 月から 年 月まで |
| 返還猶予後の返還計画 | 年 月から返還開始予定 |
| 返還猶予を希望する理由 | |

- 返還猶予の要件に該当していることを確認するため、願い出の日から返還猶予期間が終了する年度の翌年度までの間、市の職員が市民税の課税台帳を閲覧することに同意します。
 （□にレ点を記入してください。同意しない場合は、1カ月以内に交付された所得証明書を添付してください。）

妙高市定住促進通学費返還猶予決定（不決定）通知書

第 号
年 月 日

様

妙高市長 印

年 月 日付けで申請のあった資金の返還の猶予について、次のとおり決定をしたので（しないので）通知します。

1 決定区分

決定 不決定

不決定の理由

2 猶予を決定した期間

年 月 日から

年 月 日まで

妙高市定住促進通学費返還免除願

年 月 日

妙高市長 宛て

本人（相続人） 住所
氏名 ㊟
連帯保証人 住所
氏名 ㊟
保 証 人 住所
氏名 ㊟

次のとおり大学等への通学費の返還の免除を願い出ます。

なお、妙高市定住促進通学費貸与条例施行規則第15条第3号の規定に該当して返還の免除を願い出た場合において、同号に該当しないこととなって返還の免除の決定を取り消されたときは、既に返還を免除された額を返還します。

| | |
|-------------|---|
| 借 用 金 額 | 円 |
| 返 還 未 済 額 | 円 |
| 返 還 免 除 額 | 円 |
| 返還免除を希望する理由 | |

妙高市定住促進通学費返還免除決定（不決定）通知書

第 号
年 月 日

様

妙高市長 印

年 月 日付けで申請のあった資金の返還の免除について、次のとおり決定をしたので（しないので）通知します。

1 決定区分

決定 不決定

不決定の理由

2 免除を決定した通学費の額 円

妙高市定住促進通学費返還免除現況届

年 月 日

妙高市長 宛て

本人氏名 ㊟

次のとおり妙高市定住促進通学費貸与条例施行規則第15条第3号の規定に該当することを届け出ます。

なお、届け出た内容に変更があったときは、速やかにその旨を届け出ます。

| | |
|----------------------------|---|
| 居 住 地 | |
| 就 労 先 及 び そ の 所 在 地 | 事業所名 |
| | 事業所所在地 電話番号 () |
| (就労先証明欄) | |
| 上記のとおり当事業所に就労していることを証明します。 | |
| 年 月 日 | 所在地 |
| | 事業所名 |
| | 代表者名 ㊟ |
| | 電話番号 () |

備考 就労先から証明を受けることができない場合は、1カ月以内に交付された就労を証する書類を添付してください。

(裏)

市内に居住していることを確認するため、市の職員が住民基本台帳を閲覧することに同意します。

(にレ点を記入してください。同意しない場合は、1カ月以内に交付された住民票の写しを添付してください。)

妙高市定住促進通学費貸与条例施行規則第15条第3号の規定に該当していることを確認するため、届出の日から翌年度までの間、市の職員が市民税の課税台帳を閲覧することに同意します。

(にレ点を記入してください。同意しない場合は、1カ月以内に交付された所得証明書を添付してください。)